

全 体

- 出題範囲：「歴史総合」・「日本史探究」の範囲内で、総合的・基礎的な知識を幅広く出題する。
- 形 式：各試験日に大問2題で、それぞれにテーマ別のリード文を提示し、空欄補充、歴史事象・用語に引かれた下線部に関する関連事項、図表・史料の読み取りを問う。2026年度のリード文では、奈良時代から近世までの対外関係史、近代以降の政治外交史、女性天皇をめぐる政治史、近世から戦後復興期の出版文化史、古代から中世の女性史、近世から戦後の経済史、古代から近代の東アジア史、幕末開港期以降の外交・文化史、古代から近代の文化史、20世紀以降の政治文化史などを取り上げた。
- 時 代：原始・古代から現代まで。出題にあたり、特定の時代のみを取り扱わない。
- 分 野：政治・経済・外交・社会・文化などの諸分野。出題にあたり、特定の分野のみを取り扱わない。
- 強 調 点：国際環境の変化（特に東アジア・ユーラシアの動向）、市場経済の変容、日本の伝統・文化の成立・発展、産業社会・国民国家の形成、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化、女性の社会進出、生活文化の多様性、科学技術の革新などを通して、現代社会の基本的な構造がどのような歴史的な変化・文脈の中で形成されてきたのかを問う。

問 い 方

- 空欄補充（記述・選択・語句組合せ）：
歴史事象・用語について正確な知識・理解を問う。
- 正文選択・誤文選択・2文（および3文）正誤選択：
歴史事象について正確な知識・理解を問う。
- 年代整序：歴史事象について、時系列的な因果関係および展開プロセスについて正確な理解を問う。
- 論 述：地図、写真、図、統計グラフ、法令、条約を通して、歴史事象についての正確な知識・理解を問うとともに、それらの歴史的背景の理解を問う。

目 標

- 原始・古代以降の日本列島の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や世界史と関連付けて総合的に理解するとともに、歴史事象の意味・意義、伝統と文化の特色などを考察することができるか。
- 歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色を、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、多面的・多角的に考察化して概念化できるか。

- 図表や多様な史資料を多面的・多角的に理解し、課題設定とのかかわりでわかりやすく説明することができるか。
- 時期や推移などに着目して因果関係を理解し、時代転換の様子や各時代の特色を正確に捉え、歴史上の諸課題について、複数の立場や意見を踏まえて構想できるか。
- 原始・古代以降の日本列島における政治・外交・経済・思想・文化などの国際的な結び付きを理解しているか。